

FIT2009 LOIS シンポジウム「lifelog を情報システムに ー収集から活用へー」の開催にあたり  
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会 委員長  
兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科 力宗 幸男

ライフインテリジェンスとオフィス情報システム（LOIS）研究会は、今年度 4 月に旧オフィスインフォメーションシステム（OIS）研究会を改称して発足いたしました。改称の理由として次のような社会的環境の変化や経緯が挙げられます。

- ① ブログ等のオーサリングツールの進歩や、記憶媒体の低コスト化などにより、実生活により発生した購買履歴、移動履歴、写真撮影情報、医療情報などの様々な情報のデジタル化が進み、大量のライフログとして蓄積されつつある。
- ② こうした中でライフログを活用した新しいサービスとそれを支えるための蓄積、管理、利用に関する技術や、プライバシーの保護等の様々な課題に応える技術が求められるようになってきている。
- ③ このような研究領域を“ライフインテリジェンス”という新たな名称で呼ぶことで、この研究領域のターゲットを明確化する。
- ④ これまでの研究領域との継続性から“オフィス情報システム”を残す。

去る 5 月の LOIS 研究会には、新研究会名の周知と新研究分野の明確化のために、キックオフイベントとして、ライフログ関連技術者の方々の特別講演と「ライフログが拓く新たな世界」と題したパネルディスカッションを開催し、多くの研究者のご参加を頂き、成功裏にイベント・研究会を終えることができました。

今回開催致します、LOIS シンポジウム「lifelog を情報システムに ー収集から活用へー」は、LOIS 研究会周知のためのイベントの第 2 弾で、特にライフログの活用方法の理解を深めることを目的とし、どのようにライフログを活用した情報システムを構築するのかということを中心にテーマとして開催致します。

また、若手の専門家（研究者・開発者・利用者）による、ライフログに関する様々なプレゼンテーション（デモ or ポスター）も行ない、具体的なシステム構築手法、また社会への活用について、より一歩踏み込んだ意見交換を行なうことを目指しております。具体的には、学術的な新しさよりも、『実装するのにこんな苦労があるんだよ』、『こんな技術が使えるよ』、『これができたら、世の中が変わるよ』等の情報交換ができればと思っております。

このシンポジウムにご参加頂き、忌憚のない意見交換・情報交換を通じて、今後の LOIS 研究会でのご発表、新たなイベントへのご参加等、LOIS 研究会運営に、ご協力、ご指導・ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。